

都道府県名：愛知県	市町村名：瀬戸市
<p>1. 活動名 「海上の森の会」による里山保全活動</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 愛知県瀬戸市にある「海上の森」は、当初、愛知万博の候補地として計画されていたが、自然環境保全に関する様々な議論を経て、主会場が移され、愛知万博記念の森として、その多様な自然を将来にわたって保全するとともに、県民参加の学びと交流の場として利用していくこととしている。 この森の保全に関わった関係者を中心に地元、県民など多様な主体で構成する「海上の森の会」が設立され、海上の森の保全と活用の中心的な担い手となって活動している。</p>	
<p>3. 実施主体 海上の森の会</p>	
<p>4. 取組の概要 海上の森の管理者である「あいち海上の森センター」と協働、連携して、県民参加による保全活動や体験学習プログラムの実施、企業連携による森林整備の指導、支援など。 また、海上の森の会の中に活動目的に応じたグループを構成し、定期的な自然観察、森づくり、里づくり(里山文化の継承、耕地管理、巡視など)や情報発信など多様な取り組みを展開している。</p>	
<p>5. 支援事業 「あいち海上の森センター」による体験学習プログラム委託事業</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 海上の森の保全や県民などへの森林、里山の必要性の理解促進にも大きく貢献している。 県内自然環境団体、地域やあいち海上の森センターからの期待も大きく、今後とも活動の継続と充実が望まれるとともに、若年会員の参画に向けた取り組みを進めている。</p>	



「里の教室」という県民参加プログラムでの稲刈り体験。里山暮らしの指導者として海上の森の会が当たっている。

このほか、野菜作りプログラムもあり、年間をつうじた体験ができ、里山の自然や里地の保全につながっている。

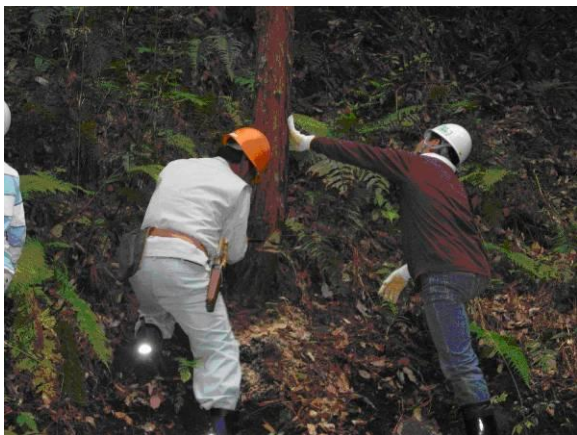


海上の森の会による人工林の間伐及び広葉樹との混交林に向けた整備。

多様な森林の保全につながっている。



里山文化の継承として、古民家を移築、改修した休憩所で正月を迎える準備。神様を招き入れるための「おこずなまき」という行事で地域の人々をまきこんだ活動となっている。



企業連携による森林整備活動の指導、支援の取り組み。